

講演会開催のご案内（東北地区講演会）

『初期馴致を考える』

「丈夫で強い馬づくり」において、馬がおとなしくて従順であることは基本中の基本である。人に馴らし、環境に馴らし、馬装具に馴らして調教を順調に進めていくためにはどうすればいいのか。今回の講演会は若馬の馴致について科学的に経験的に得られた情報を出席者と共に考え、日頃の愛馬の管理に役立てていただくことを目的として開催します。

日 時：平成 18 年 10 月 12 日（木） 13 時 00 分～16 時 30 分

場 所：三戸郡町村会館

青森県八戸市尻内町鴨ヶ池 96-3

共 催：財団法人 軽種馬育成調教センター（B T C）

日本中央競馬会（J R A）

後 援：社団法人 日本軽種馬協会（J B B A）

青森県軽種馬生産農業協同組合

演題並びに講演者

「競走馬のしつけとパフォーマンス」

楠瀬 良(くすのせ りょう)

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 企画調整室 室長

「競走馬の馴致について」

坂本 浩治(さかもと こうじ)

日本中央競馬会 生産育成対策部 調査役

費用は無料で、どなたでも聴講できます。奮ってご参加下さい。

問い合わせ：

軽種馬育成調教センター 企画調整課

T E L：0 4 2－3 5 8－1 1 7 3

青森県軽種馬生産農業協同組合（JBBA 東北支部，競走馬のふるさと東北案内所）

T E L：0 1 7 8－2 7－0 4 5 8

競走馬のしつけとパフォーマンス

日本中央競馬会 競走馬総合研究所 楠瀬 良

牧場で生まれたサラブレッドは、実際に競馬場にデビューするまでに、生産者、育成技術者、厩舎関係者など多くの人がかかわっていく。そうした人たちがデビューまでの馬たちに求めるものは、健全に成長しつつある馬体、強靱な基礎体力、人に対する強い絆などである。このうちのどれか一つが欠けても、まともな競走馬にはなれない。

スピードや持久力など、肉体的能力が勝敗のすべてを決するように見える競走馬において、「人に対する強い絆」が重要だということに違和感をおぼえる人がいるかもしれない。しかし競走馬のパフォーマンスに「人との絆」が影響している証拠は存在する。

競馬場における馬の行動

演者らは2年間にわたって、中央競馬に出走する競走馬の競走当日の厩務員と一緒にいるときの行動をスコア化して観察記録し解析を行った。スコアには日頃の厩務員との信頼関係が影響するものと考えられた。データを解析した結果、スコアが低い（おとなしく従順）ほど競走成績が上位にくるという傾向が、記録を行ったすべての競馬場のすべての年齢の競走馬に共通して認められた。

このことから、人を信頼している従順な馬に育てることが、競馬で勝つチャンスを増やすことにつながるということが予想される。

幼駒期における人との絆

人に対する従順性には遺伝的な要因も関係するが、なんといっても人が日常的に馬とどのように接しているかが大きな影響をおよぼす。とりわけ幼駒期での環境は、いわば個性の形成という点で重要であると推測される。これらについても演者らは観察をおこなっているので、本講演会ではその成績について詳細に報告をしたい。

競走馬の馴致について

日本中央競馬会 生産育成対策部 坂本 浩治

J R Aでは、育成業務として日本各地で行われる市場において1歳馬を購入し、それらの馬に対して日高、宮崎の育成牧場で育成、馴致、調教を行い、翌年の4月下旬に馬主の皆様へ売却しております。

私たちは、その業務の中で育成技術の向上に資するために、海外競馬先進諸国から優れた技術を学び、その技術について実際の育成を通して試行錯誤を重ねてきています。また、科学的な切り口や、指標を用い育成、調教状況を把握するとともにデータを集積してきており、得られた技術や知見についてはその時々によりいろいろな形で皆様にもお知らせしてきたところです。

同時にそういった積み重ねの中で、J R Aの育成牧場としての基本的な育成馬の取り扱いに対する考え方、管理手法といったものが形作られてきました。現在その内容について、育成馬の管理指針という形に纏めているところですが、今回はその中から、生産から育成後期までの馴致の部分を抜粋し、基本的な馬への接し方に対する考え方と共に、広い意味での馴致の手順について話をさせていただきたいと思います。

日本ではこの10年でセリに上場する馬たちのしつけや展示の仕方が、北海道市場を中心に大きく改善されてきており眼を見張るものがあります。一方で、改善の進んだ上場者とそうでないところの格差がますます大きくなってきているとも感じています。そういった中、八戸市場においては、北海道のコンサイナー（市場販売委託業者）からの上場もあり、皆様も刺激を受けておられるのではないのでしょうか。

講演の中では10年ほど前に作成した、日本の馴致の現状と海外（アイルランド）での実態をわかりやすく紹介した映像と交えて、セリの準備やしつけにおいてすぐに実践できる内容を多く取り入れ、わかりやすく説明できたらと考えています。